



須留が峰



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは 分かちあうこと」
養父市立養父中学校 学校だより
(令和7年12月15日) 第32号

学校教育目標「しなやかな強さをもち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

12月の生徒集会

12月8日(月)に12月の生徒集会がありました。以下にその内容をお知らせします。

【校長講話】

「時のたつのは早いもので、今日は12月8日です。2学期ももう残りわずかになりましたね。あっそう言えば、12月8日、これは日本の歴史上、たいへん大きな日ですね。誰か分かる人いますか?<生徒挙手>生徒:『太平洋戦争が始まった日です。』『正解!』今から84年前に日本がアメリカの真珠湾というところを奇襲攻撃した日になります。戦争と言えば、どうしても広島・長崎の原爆投下だと、東京大空襲だと、被害のあったことばかりを記憶しがちですが、加害のことも知っていく必要があるように私は思っています。あ、すみません!12月8日ということで、急に真珠湾攻撃のことを思い出し、思いつきで話をてしまいました。ごめんなさい。

さて、2学期が終わろうとしていますが、皆さんは楽しく学校生活を送ることができたかどうかが気になります。どうですか?楽しく学校生活を送ることができましたか? <生徒意見交換> と言うか、質問の仕方が悪かったです。楽しい学校生活を送ることができたかどうかを尋ねる前に、学校における『楽しさ』とは何かを明らかにしておく必要がありました。学校における『楽しさ』とは、東京ディズニーランドやカラオケボックスで感じるような『楽しさ』とは違いますよね。そりや、学校のグラウンドにジェットコースターを作れば楽しい毎日を過ごせるかもしれませんし、教室をカラオケボックスにしても楽しい日々を過ごせるでしょう。しかし、学校ではそういった『楽しさ』を味わうことは無理です。学校における『楽しさ』とは、『今まで出来なかったことが出来るようになる、例えば、解けない問題が解けるようになる、跳べなかつた跳び箱が跳べるようになる』こと、つまり、自分の成長に気づくことができることが学校における『楽しさ』なのです。それと、もうひとつこの『楽しさ』は、『友人との交流や先生との出会い』。これまた学校における『楽しさ』ということになりますね。ただし、このふたつは、一定の『努力』が必要です。だって、頑張らないことには学力はつきませんし、なんでも好き勝手なことをしたり言ったりする人は、友達が遠ざかってしまいます。だから、学校での『楽しさ』を味わうためには、一定の『努力』が必要なのです。現在、生徒玄関に、生徒会役員の皆さんがあなたに作ってくれた『ステップアップツリー』が貼られており、そこに、皆さんのが頑張ったことを示してくれていますが、2学期に皆さんのがどんな『楽しさ』を感じたかをもう一度情報



交換してみてください。<生徒意見交換> 今日は、学校の『楽しさ』ということについて皆さんとともに考えてみました。以上で今日の私からの話を終わります。」

<各種表彰>

- ・兵庫県中学校総合文化祭(美術部門) 特選 他
- ・青少年読書感想文兵庫県コンクール 佳作 他
- ・但馬造形教育展 特選 他
- ・兵庫県幼小中造形教育展 特選 他
- ・兵庫県中学校技術・家庭科研究大会 入選
- ・近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞(税の作文)
- ・和田山納税貯蓄組合総連合会会長賞(税の作文)
- ・養父市中学校秋季バーボール大会 準優勝 バーボール部



<生徒会長からのメッセージ>

<生徒会からの連絡>

<「交通安全～自転車～」について(交通安全担当教員からの講話)>



人権集会

12月9日(火)、人権集会を以下のような流れで実施しました。学校HP「トピックス」もご覧ください。

①開会あいさつ(生徒会長)

②生徒意見発表

1年生 「人は数?」

2年生 「イメージと偏見をなくす」

3年生 「人権について考える」

③表彰 標語の部

ポスターの部

人権作文コンテスト兵庫大会地区予選 銀賞



④人権啓発DVD「ほんとの空」鑑賞

⑤校長講話 ※校長出張にて教頭が代理

保護者アンケートにご協力ください

令和7年度も残り3か月程度になりました。この時期になりますと、1年間の学校運営を振り返るとともに、次年度に向けた展望を持つために、どの学校でも「学校評価」を行います。その「学校評価」には、勤務している教職員による自己評価に加えて、「学校関係者評価」と呼ばれる保護者アンケートも含まれます。昨年度に引き続き養父中学校でも実施しますので是非ご協力ください。今後の学校教育を展開していく上での参考にさせていただきます。

さて、この保護者アンケートにおいて、学校へ対するご批判をいただくこともあります、時折カスタマー・ハラスメントに該当するような誹謗中傷が含まれ、内容によっては教職員が深く傷つくことがあります。精神疾患に伴う病気休職教職員が全国的に増加する中、これは決して看過できないことであり、今年度の本校の自由記述欄につきましては「記名式」とさせていただきます。何卒ご了承ください。是非前向きで建設的なご意見やご感想をお寄せくださることをご期待申し上げます。なお、保護者アンケートの実施はWEB回答方式で、1月を予定しています。

